



令和4年度より大学院新カリキュラムがスタートします！



1月13日(木)、大学院改革についての記者発表を行いました。

「オンラインによる説明会を開催」

大学院では、令和4年度からカリキュラムを改編します。

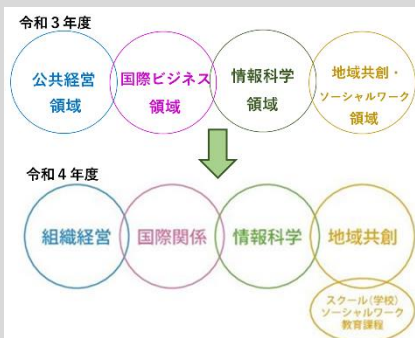
1月18日(火)には在學生及び修了生向けに、25日(火)には一般の方向けに説明会を開催しました。当日は、本学公益学研究科長 武田真理子教授より、大学院改革の目的と改編の内容等について解説しました。

「修士1年次における『演習』の複数受講や、多彩なプロジェクト科目を展開」

新カリキュラムのポイントとして、必修科目である公益学総論をベースに、公益学ならではの問や社会課題、地域課題を学びます。複数ゼミ制を活用し、様々な専門の教員の知見を得ることで、既存の専門分野を超えた新しい発想を生み出せるようにします。研究領域を超えた公益学研究科ならではの環境で、院生が公益学研究のテーマを考えることが可能です。

また、カリキュラム改編により、研究領域の名称が変わりました。具体例としては、「公共経営」が「組織経営」となります。これは、「公共」という名称が変更になることで、公的・民間の組織に属する方々が各分野を超え、専門的な学びを深めることが目的です。

さらに、これらの基礎研究に加え、地域課題と企業経営を学ぶ「特別セミナーa」、昨年12月に本学と包括連携協定を締結した株式会社プロトソリューション様との「地域課題解決への新しい貢献」と「地域のITリテラシーの向上、IT及びIT技術の活用」を推進することを目的とした「プロジェクト科目」など、実践的な科目を履修することで、さらに学びを進めていきます。



「参加者の声をご紹介します」

当日はオンライン上ではありましたが、参加者からの質問や意見が多数寄せられ、関心度の高さが感じられました。

- ・大学院に進学する学生が、研究領域に関係する職に就きたいと考えた場合、就職に対するサポートがあると心強いと思う。優秀な人材を育てて、積極的に地元採用してもらいたい流れができればよいと思う。
- ・公益学について、幅広く学べる点はメリットだが、大学院には専門性が薄いと感じる。例えば共創の技法のような「公益学研究科ならではの専門性」がもっとあると強みになるのではないかと感じている。

★頂いたご意見は、今後の大学院改革の参考にさせていただきます！

【試験日程について】

- ・ 願書締め切りは2月4日(金)必着。
- ・ 試験日は2月27日(日)に実施。(試験内容:小論文、面接など)
- ・ 合格発表は3月11日(金)。

授業見学は随時、受け付けています。お気軽にご相談ください！

東北公益文科大学 大学院事務室 (鶴岡キャンパス)
住所 〒997-0035 山形県鶴岡市馬場町14番1号
電話 0235-29-0555 メール gs@koeki-u.ac.jp
ホームページ <https://www.koeki-u.ac.jp/academics/gs/>



ホームページも
ぜひチェック
ください！